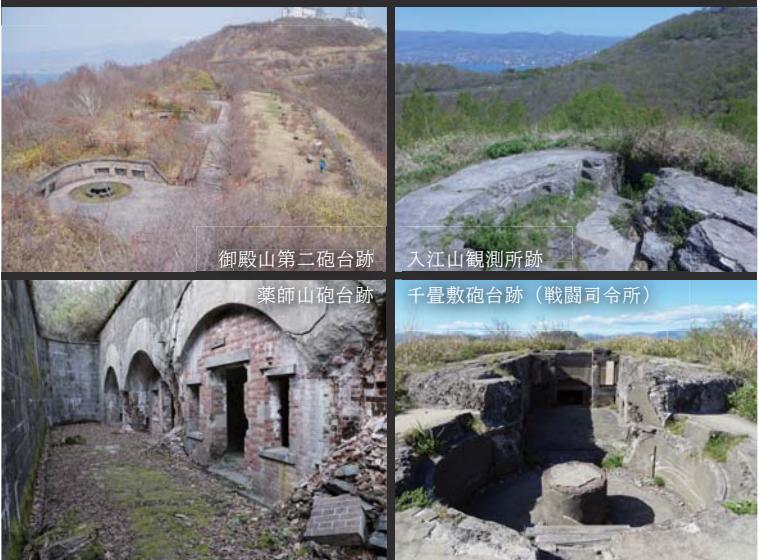




函館山の砲台跡

函館山には明治28(1895)年の日清戦争終結後に日露戦争を想定し、津軽海峡の防衛強化を目的に明治31(1898)年から約5年間を費やして大小5か所の砲台が建設されました。日露戦争開戦後、津軽海峡でロシア艦隊が日本の船舶に損害を与えたが、射程外であったため要塞からは一発の砲撃もされませんでした。しかし、要塞の存在により函館港が攻撃されることはありませんでした。その後、大砲は撤去されましたが、大正に入り、米国を仮想敵国とし、函館と青森の両港を守り、津軽海峡における敵艦隊の通航阻止のため津軽要塞として再整備されました。また、函館山は、明治32(1899)年に要塞地帯法が制定され、昭和21(1946)年に開放されるまでの約47年間、一般市民の立ち入りが禁止されていました。



近郊アクセス



- ▶ 旧登山道コース・宮の森コース入口まで
「十字街」・「宝来町」電停から徒歩10分
 - ▶ 七曲りコース入口まで
「谷地頭」電停から徒歩15分
 - ▶ 観音コース入口まで
「函館山前」電停から徒歩15分

入山注意事項

 - 豊かな自然を守るため、都市公園条例により全ての植物の採取は禁止しています。
 - 生態系の保護・保全のため、動植物（種を含む）の持ち込みは禁止しています。
 - 函館山には「マムシ」、「スズメバチ」、「ツタウルシ」など、危険な動植物が生息しているので、十分注意してください。
 - 指定された散策コース以外への立ち入りは禁止しています。
 - たき火など火気を取り扱うことは禁止しています。
 - 指定された場所以外での喫煙は禁止しています。
 - ペットの持ち込みは一部コースで禁止しています。詳しくは函館市HP（中面地図の2次元バーコード）をご覧ください。
 - 自転車を利用しての入山はできません。
 - ゴミは各自でお持ち帰りください。

無料駐車場

山麓駐車場：乗用車23台（うち身障者用1台）

山頂駐車場：乗用車38台

立待岬駐車場：乗用車43台（うち身障者用1台）

つつじ山駐車場：乗用車45台

* 山頂およびつつじ山駐車場は、冬期間は通行止めとなるほか、4月第3金曜日から9月30日の午後5時から10時まで、10月1日から11月中旬頃までの午後4時から9時までの間は夜間通行規制のため利用できません。

問合せ先

函館山ふれあいセンター・・・・・ ☎ 0138-22-6799

函館市土木部公園河川管理課 · · · · ☎ 0138-21-3431

事故·事件 · · · · · · · · 110

作成年月／2025.3



函館山の自然

函館山は火山活動や地殻変動により出現し、海流による漂砂で亀田半島となつた陸繫島です。三方が海に囲まれ、標高約334m、周囲約9kmであり、牛が寝そべっているような外觀から別名「臥牛山(がぎゅうざん)」とも呼ばれており、複数の山の総称として「函館山」と呼んでいます。また、道南特有の温暖な気候であることや、かつては要塞があり一般市民の入山が禁止されていたことなど、植物の生育にとって恵まれた自然環境にあったことから、約600種の植物が生育し、その多くが本州北部地域と同種のものといわれています。さらに四季を通じて野鳥が生息し、また、津軽海峡を南下・北上する渡り鳥の休息地として重要な役割を果たしており、約150種が観察される野鳥の宝庫として、鳥獣保護区特別保護地区に指定されています。

